

朝顔



NEWS LETTER

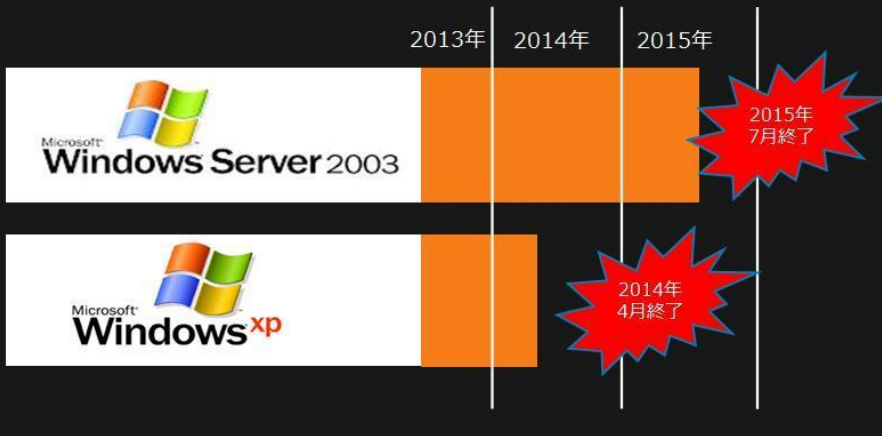
Ver. 2013. 06



TRAM SYSTEM

今月のコンテンツ

Windows Server 2003 / Windows XP とともに
延長サポート終了が迫る



Windows XP

サポート終了について

◎ XP のサポート終了 徹底解説！

- ・サポート終了したら実際どうなるの？
- ・XP を使い続ける道を探る
- ・XP から移行するなら何がいい？



露草

今年も既に半分が過ぎ、6月となりましたね。
6月の中旬あたりから急激に気温が上がり、真夏日になる日が続いています。
今年の夏も、暑くなりそうですね・・・。

さて、2014年問題と呼ばれるWindows XP のサポート終了について今回は詳しくご説明していきたいと思えます。
現時点で対策されている方も、されていない方も、自社の業務内容によって打つ対策が大きく変わる事を知って頂き、この機をむしろ業務効率化へと繋げていきましょう。

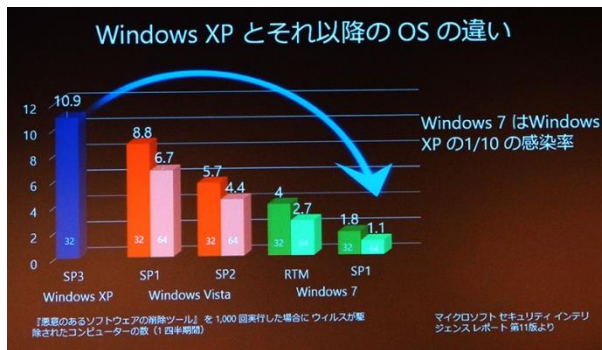
◎ XP のサポート終了 徹底解説！ ①

・サポート終了したら、実際どうなるの？

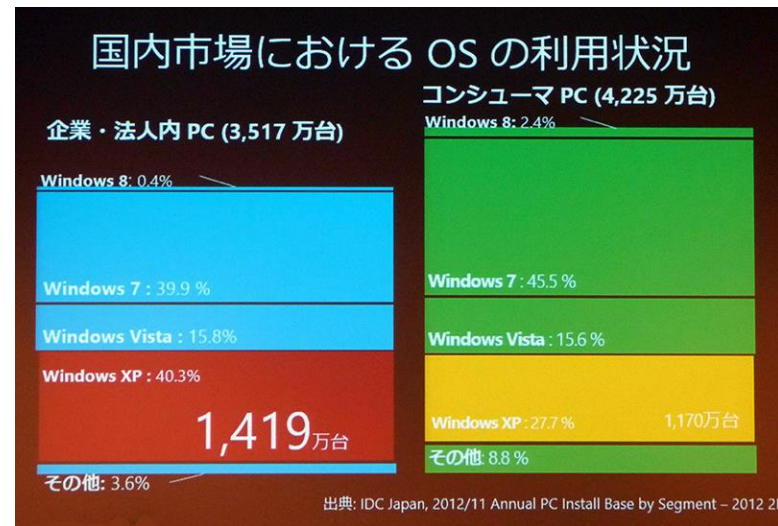
日本で多くの人、企業で使われてきたWindows XPですが、そのサポートが2014年4月9日(日本時間)をもって終了します。

Windows XPやWindows Server 2003などの延長サポート終了に伴い、最も懸念されるのは、脆弱性攻撃やマルウェア感染のリスクです。サポート終了後は、セキュリティパッチが提供されなくなるため、サポート終了後に新たな脆弱性が発見された場合、OSは完全に無防備な状態となってしまいます。

もちろんサポートされているOSに変更したほうが良いのは解りますが、システム上の問題や金銭面の問題でなかなか簡単に切替られない方もおられると思います。本当にXPのままで運用できないのか、XPしか対応していないシステムはどうすればいいのかなど、次ページよりご説明していきましょう。



左の図は OS の種類によつての感染率を表していますが、XP と Windows7 で感染率が10倍も違います。古い OS 程、脆弱であると言えますね。



国内市場のOSの利用状況を見ると、企業ユーザーの約40%、一般ユーザーの約28%がまだWindows XPを使っているようです。

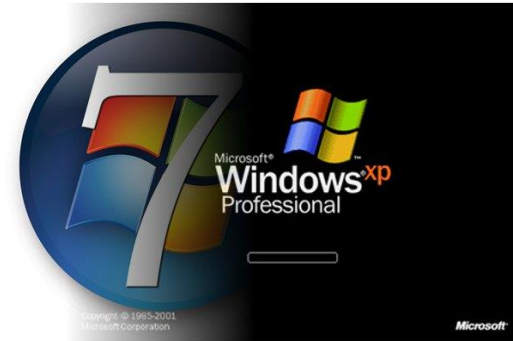
それにしても Windows8 の利用率が0.4%で...

◎ XPのサポート終了 徹底解説！ ②

・XPを使い続ける道を探る

まず第一に、ネットに一切繋がらない運用のパソコンならXPのまま使い続けても特に問題はありません。

その場合は、ネット接続出来ない環境下におくことと、徹底した管理が必要になります。また、USBメモリから感染する例も多いので注意が必要です。



次に、市販のセキュリティソフトのインストールやUTM(統合脅威管理システム)の導入でセキュリティレベルを上げて、XPを使い続ける方法です。堅固なセキュリティシステムであれば、OSが脆弱な分のカバーは十分に補ってくれますが、ここで注意しなければならないのは、そもそもXP専用の基幹システムを使っているから、気軽に「7」や「8」に切替られなかったというケースです。

これは堅固なセキュリティシステムだからこそ、基幹システム自体がウイルスであると判断されて、なかなか上手くシステムが動いてくれない場合があります。システムを開発した業者ともよく相談されてから導入することをオススメします。

また、XP切替時期を商機と、今まで聞いたこともないような有象無象のセキュリティ会社が現れています。

その見極めは最も重要なことなので、過去の実績なども加味しつつ慎重に選びましょう。

補助金政府の援助

◎ XP のサポート終了 徹底解説！ ③

・XP からは 何に移行するのが一番いいの？

ここまでXPのままでどうにかする手段をご紹介してきましたが、ここからはXPを切り替えるなら何がベストかをご紹介致しましょう。

何に移行するのがベストなのかは、その使用状況と、使用環境に大きく左右されます。移行パターンとして大きく分けて4つありますが、順にご紹介しますので、ご自分にあったパターンを見つけて下さい。



(1) 簡単なメールやネットが中心

これはもうパソコンはやめて、iPad や Android などのタブレットにしてみてもどうでしょうか。Wifi専用機のタブレットなら月額料金も¥3,000以下はザラにあります。簡単なメールやネットが中心ならこれだけでも十分にカバーしてくれます。データ容量が足りない場合はタブレット対応のNAS(ネットワーク接続型の外付ハードディスク)を使うのもオススメです。ただ、メールなどで長文を書くことが多い人は、腕が疲れてしまうのであまりオススメできません。

(2) Mac

慣れ親しんだWindowsからMacへの切替はかなり抵抗がある人が多いのではないのでしょうか。私もその1人だったのですが実際に使ってみると、10年前に比べて格段にWindowsとMacの操作性の違いは緩和されていると感じます。

次のページにつづきます

◎ XPのサポート終了 徹底解説！ ④

(2) Mac つづき

「Office for Mac」や「Outlook」など、多くのMicrosoft Officeのアプリケーションも動かすことができます。

また、基幹システムがXPでしか作動しない場合は、**仮想化ソフト**でWindows XPをMacで動かすという手段もあります。

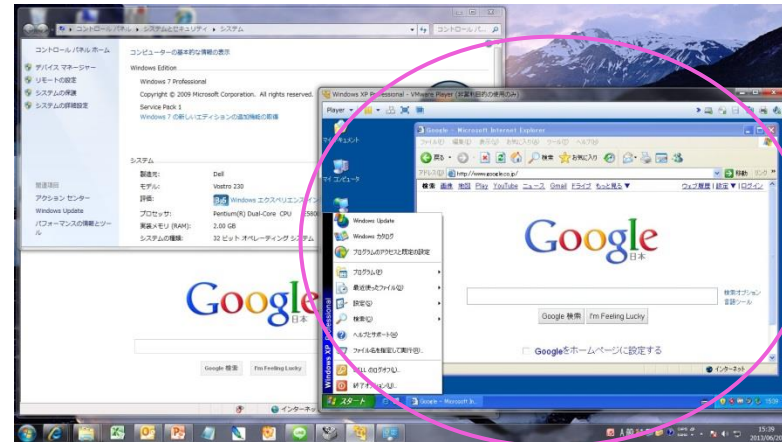
欠点としては、Macはちょっとお高いということです。また、色々な操作方法を新たに覚えなおす必要があります。とはいえ、XPからWindows8に移行した場合よりは簡単に操作は覚えられます。

それはそれでどうなの…っていう気もしますが…。

(3) Linux デスクトップ

見た目や操作性が「XP」に非常に似ており、安全性、安定性での評価も高いOSです。Linux版 Officeも市場では高い評価を得ているようです。欠点としてはWindowsのアプリケーションを動かそうとすると、少々骨が折れるということです。「Wine」と呼ばれるプログラムやその商用版「Crossover Linux」などを使えば何とかできますが、PCによほど自信のある方以外は手を出さないほうが無難かもしれません…。

仮想化ソフト



PCの中にPCを入れるというイメージです。そのPCのOSを「XP」にすれば今まで通り「XP」が使えるということです。ちなみに上の画像はWindows7のPCからXPを開いています。



◎ XPのサポート終了 徹底解説！ ⑤

(4) やっぱりWindows7

XPからの移行で無難かつもっとも自然な選択肢はやはり「7」と言えるでしょう。以下にXPユーザーの気になる点をあげましたので参考にして下さい。

- i. Windows7「Professional」「Ultimate」にXPモード？
これは「7」のデスクトップ上でXPソフトが使えるというもので、「仮想化ソフトのXP」が初期から入っているようなものです。
- ii. Vistaからは何が変わってる？
使用感が不評だったVistaから、起動速度や動作速度の向上やデバイス管理の強化で全体的に使いやすく、スペックが上がっています。
- iii. UIの改良
ユーザーが使いたいアプリケーションや文書を見つけやすく、見つけられない場合、UIはバックグラウンドに引っ込んで作業を始められるようになるなど、全て正しい方向に改良されているといえます。
- iv. 3つのエディションで使い分ける
 - ・「Home Premium」: 標準的な一般ユーザー向け
 - ・「Professional」: 企業、上級一般ユーザー向け
 - ・「Ultimate」: 「Pro」+セキュリティアップ



とはいえ、Windows7もサービス終了が2020年です。Windows製品のサポートサイクルが10年ですので、今後も今回のような手間が必ず発生することを忘れてはいけません。徐々にパソコン＝Windowsといった風潮は薄れてきています。これを機に色々試してご自分にあったスタイルを見つけてみるもの良いかもしれませんね。



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp